

「知床半島先端部地区利用の心得」 お問い合わせ先・入手先

【お問い合わせ先】

○環境省 釧路自然環境事務所

〒085-8639 釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎
電話：0154-32-7500 FAX：0154-32-7575

○羅臼自然保護官事務所

〒086-1822 目梨郡羅臼町湯ノ沢町 388
電話：0153-87-2402 FAX：0153-87-2468

○ウトロ自然保護官事務所

〒099-4355 斜里郡斜里町ウトロ東 186-10
電話：0152-24-2297 FAX：0152-24-3646

【関連施設等】

○知床世界自然遺産ルサフィールドハウス

(詳細は隣ページ参照)

○羅臼ビジターセンター <http://rausu-vc.jp>

〒086-1822 目梨郡羅臼町湯ノ沢町 6-27

電話：0153-87-2828

開館時間：5～10月 9:00～17:00

11～4月 10:00～16:00

休館日：毎週月曜日及び年末年始

○知床自然センター <http://www.shiretoko.or.jp>

〒099-4356 斜里郡斜里町岩宇別

電話：0152-24-2114

開館時間：4月20日～10月20日 8:00～17:40

10月21日～4月19日 9:00～16:00

休館日：12/31のみ

○知床データセンター (web サイト)

<http://dc.shiretoko-whc.com/>

計画と法律 > 知床ルール > 先端部地区利用の心得 > PDF ファイル



Outline of Shiretoko Peninsula Apical Region

- In Shiretoko Peninsula Apical Region,
- The density of brown bear of there is very high.
- There are harsh natural conditions.
- There are neither a mountain climbing trail nor a stroll road.

For park users that do enter the Apical Region, it is requested that they possess a particularly high degree of skill and good physical condition to personally handle these harsh conditions, as well as the firm understanding that actions should be based on sound judgment and that personal responsibility be taken for them.

For nature conservation, you should get “Conduct in the Use of Apical Region” and understand that content well before entering Apical Region.

“Conduct in the Use of the Shiretoko Peninsula Apical Region” is here!

http://dc.shiretoko-whc.com/data/management/rules/sentan_rules_2008_e.pdf

知床世界遺産 ルサフィールドハウス

知床半島先端部地区を訪れようとする方に情報提供を行うほか、知床の海についての展示も充実している施設です。知床半島先端部地区に立ち入る方は必ずお立ち寄りください。

所在地：〒086-1813 羅臼町北浜 8 番地

電話番号：0153-89-2722

開館時間：2月～4月 10:00～16:00

5月～10月 9:00～17:00

(11月～1月休館)

休館日：毎週火曜日

ホームページ：<http://shiretoko-whc.jp/rfh>

施設外観



位置図



知床半島先端部地区に 立ち入る方へ

Things to do before entering the Shiretoko Peninsula Apical Region

知床半島先端部地区は世界有数のヒグマ高密度生息地であり、それに加えて厳しい自然条件があなたを待ち受けます。

過酷な条件に自らの力だけで対処できる極めて高度な技術・体力・判断力のもと、全て自己責任において判断し、行動しなければならない地区です。

環境省 羅臼自然保護官事務所
環境省 ウトロ自然保護官事務所

知床半島先端部地区とは

・世界有数のヒグマ高密度生息域です。

人間を気にせずに大胆な行動をする個体も多く、他の地域とは状況が大きく異なります。

・厳しい自然条件が待ちかまえています。

刻々と変わる天候や海況、低い海水温などのリスクがあります。

・登山道や遊歩道などの施設はありません。

国立公園内ですが、一般者の利用は想定していません。自らの判断でルート選択を行う必要があり、岸壁の高巻きや急斜面のトラバース、深いやぶこぎ、徒渉などを余儀なくされます。

先端部地区に立ち入る方には



- 過酷な条件に自らの力だけで対処できる極めて高度な技術・体力・判断力が必要です。
- 全て自己の責任において、判断・行動しなければならない場所であることを十分に自覚することが必要です。
- 先端部地区に関する予備知識と、**最新情報（潮汐、ヒグマ出没状況、崩壊箇所など）**を入手した上、綿密な計画を立てることが必要です。

それでも！ 先端部地区への立ち入りをお考えの方へ

先端部地区の原始的な自然環境を保全するため、

必ず「知床半島先端部地区利用の心得」※を入手し、その内容を十分に理解し、行動してください。また現地での新情報を入手するためにもルサフィールドハウス、羅臼ビジターセンターには必ずお立ち寄りください。

※利用の心得の入手先は裏面をご覧ください。



シーカヤック

地形による風況の変化が激しい。状況の的確な判断と行動が必要。



ヒグマ対策

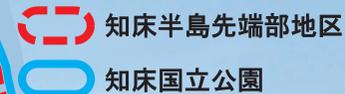
ヒグマ対策は必須。対応を誤るとあなたの次の来訪者にも危険が及ぶ。

動力船による岬への上陸は**禁止**。
知床岬に徒歩で到達した場合も、徒歩でお帰り下さい。



海岸トレッキング

滑りやすい崖地の通過。古いロープに頼った上り下りは極めて危険。



知床半島先端部地区

知床国立公園



景観保全

次の来訪者のため、利用の痕跡を残してはならない。



海岸トレッキング

岸壁をへつる。重いザックを背負った通過には高い技術が必要。



登山

ハイマツが深く、地図とコンパスを用いた高い読図能力が求められる。

羅臼港

